

オプジーボ+SOX療法

患者番号: 氏名: 性別: 年齢:

がん種 (適応)	胃癌		
開始年月日	年 月 日	1 コース期間	21 日間
体格	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
嘔気・嘔吐リスク	中等度	制吐剤	パロノセトロン注 0.75mg +デキサート注 6.6mg
特記事項 (オキサリプラチン)	オキサリプラチンは 6 コース目以降アレルギー症状に注意が必要です。アレルギー予防に前処置としてデキサート注 16.5 mg、ファモチジン注 20 mg、レスタミン錠 50 mgで効果があったという報告があります		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
オプジーボ	360mg (360mg/body)	30 分	Day1
オキサリプラチン	mg (130mg/m ²)	2 時間	Day1
エスワンタイホウ	mg / 回	経口	2 週服用 1 週休薬

体表面積	初回基準量 (テガフル相当量)
1.25 m ² 未満	40mg/回
1.25 m ² 以上~1.5 m ² 未満	50mg/回
1.5 m ² 以上	60 mg/回

※腎機能を考慮した上で初回基準量を調節

【処方が必要な内服薬】

エスワンタイホウ () 錠 ×朝夕食後 夕食後から服用開始

- HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
- HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → HBV-DNA 定量(-) → 3 ヶ月毎 定量
- HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン _____

		免疫チェックポイント阻害薬 副作用対応連携シート			
副作用	主な自覚症状	検査項目	ハースマン (投与開始時) ○実施	モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	○	投与時	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちにご相談ください。
		胸部CT	○	疑い時	
内分泌障害	甲狀腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲狀腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲狀腺のほれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がもうせれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみかす 副甲狀腺機能低下症：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りのしびれ	TSH・FT3・FT4	○	月1回	【甲狀腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレゼンタ抗体、抗チログロブリン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH-コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト
		抗チログロブリン抗体 抗TPO抗体 TSHレゼンタ抗体 PTH	○	疑い時	
		ACTH コルチゾール	○	月1回	
		ACTH コルチゾール	○	疑い時	
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の便通、血便もしくは黒クール便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは圧痛	排便回数	○	投与時	Grade2以上の下痢、便回数の増加が認められた場合（ハースマンと比較し4~6回/日以上の上の排便回数増加） 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意
		腹部CT 大腸内視鏡検査	-	疑い時	
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がだぶつて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体がこわくならない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	CPK	○	投与時	目下からでくる（眼瞼下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時 あるいは、CPK1000IU/L以上の場合にコンサルト
		AChR抗体	-	疑い時	
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	HbA1c	○	月1回	血糖値が、急激に上昇した場合にコンサルト
		グリコアルブミン 血糖	○	疑い時	
		検尿（尿ケトン体） Cペプチド	○	投与時	
皮膚障害	湿疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	○	投与時	Grade2以上の皮膚障害
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そら痒感	HBS抗体・HBs抗体 HCV抗体	○	感染歴がある方は3ヵ月毎にDNA量を測定	左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP	○	疑い時	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	心エコー 心電図	○	投与時	左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト
その他		Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) バリエーション	○	投与時	

※検査オーダーは検査セット、統合セットを作成していただきますので、そちらより使用してください

死亡例が報告されています。早めに専門医へのコンサルトをお願いします